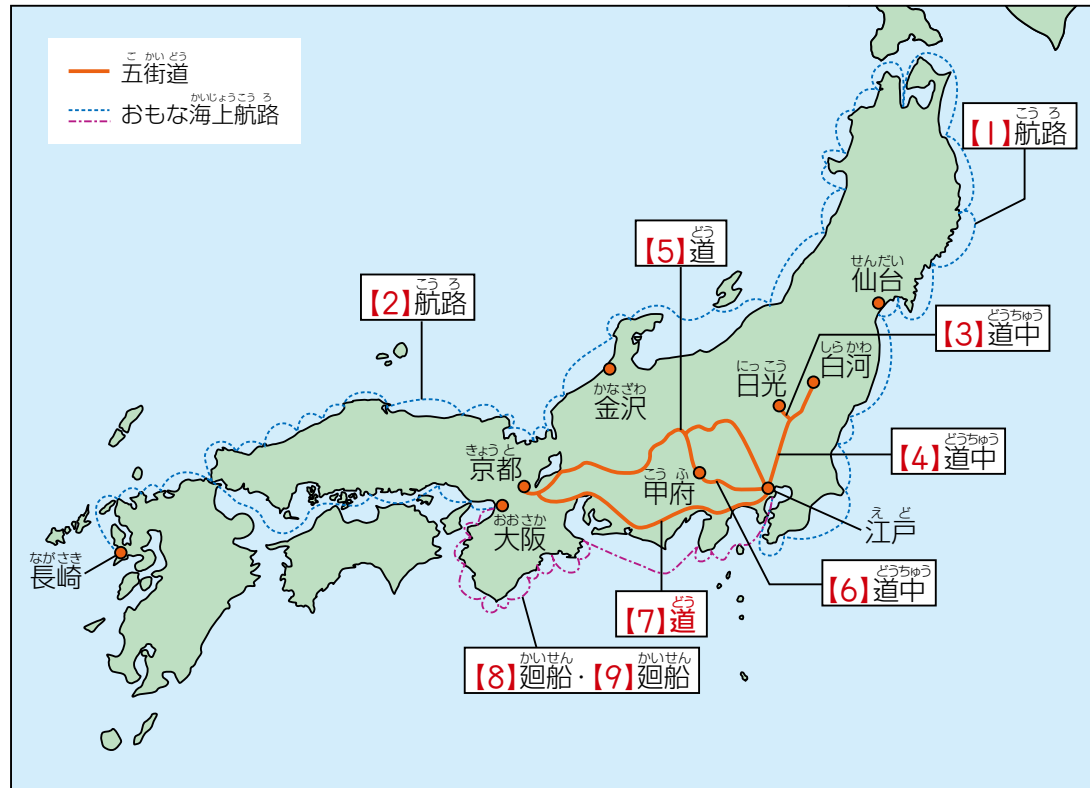
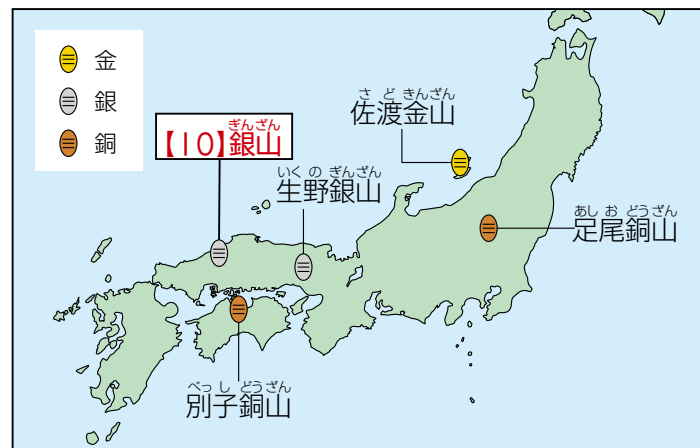




江戸幕府は、江戸と各地の城下町を結ぶ街道を整備しました。さらに、全国各地から年貢や特産物を運ぶための、江戸や大阪に向かう航路が開かれました。江戸時代の主な陸上・海上交通と、各地の鉱山について確認しましょう。



江戸時代の都市と交通



江戸時代の鉱山

関連 42 ページ 幕府領と大名の領地 (1664 年ごろ)

主な陸上交通

- 江戸の日本橋を起点とする5つの主要街道をまとめて【11】といいます。
- 【7】道…江戸と京都を結ぶ。
- 【5】道…江戸と草津(滋賀県)を結ぶ。
- 【6】道中(甲州街道)…江戸と甲府(山梨県)・下諏訪(長野県)を結ぶ。
- 【3】道中(日光街道)…江戸と日光東照宮のある日光(栃木県)を結ぶ。
- 【4】道中(奥州街道)…江戸と白河(福島県)を結ぶ。
- 街道には関所や宿場が置かれ、宿場の周りは【12】としてにぎわいました。

主な海上交通

- 【2】航路…日本海沿岸の港から下関・瀬戸内海を通り、大阪へ向かう。
- 【1】航路…日本海沿岸の港から津軽海峡を通り、江戸に向かう。
- 江戸と大阪の間には、定期船として【8】廻船や【9】廻船が往復していました。

各地の鉱山

金山	佐渡(新潟県)
银山	【10】(島根県), 生野(兵庫県)
銅山	足尾(栃木県), 別子(愛媛県)

江戸時代に栄えた都市

- 金沢…前田氏が治める加賀藩の城下町として栄えました。加賀藩は、「加賀百万石」と呼ばれ、幕府を除いて最大の石高をほこっていました。
- 仙台…伊達氏が治める仙台藩の城下町として栄えました。

ポイント 五街道と航路は、ルートも覚えよう!

- 東海道…江戸と京都を結ぶ街道
- 西廻り航路…日本海沿岸から大阪へ, 東廻り航路…日本海沿岸から江戸へ

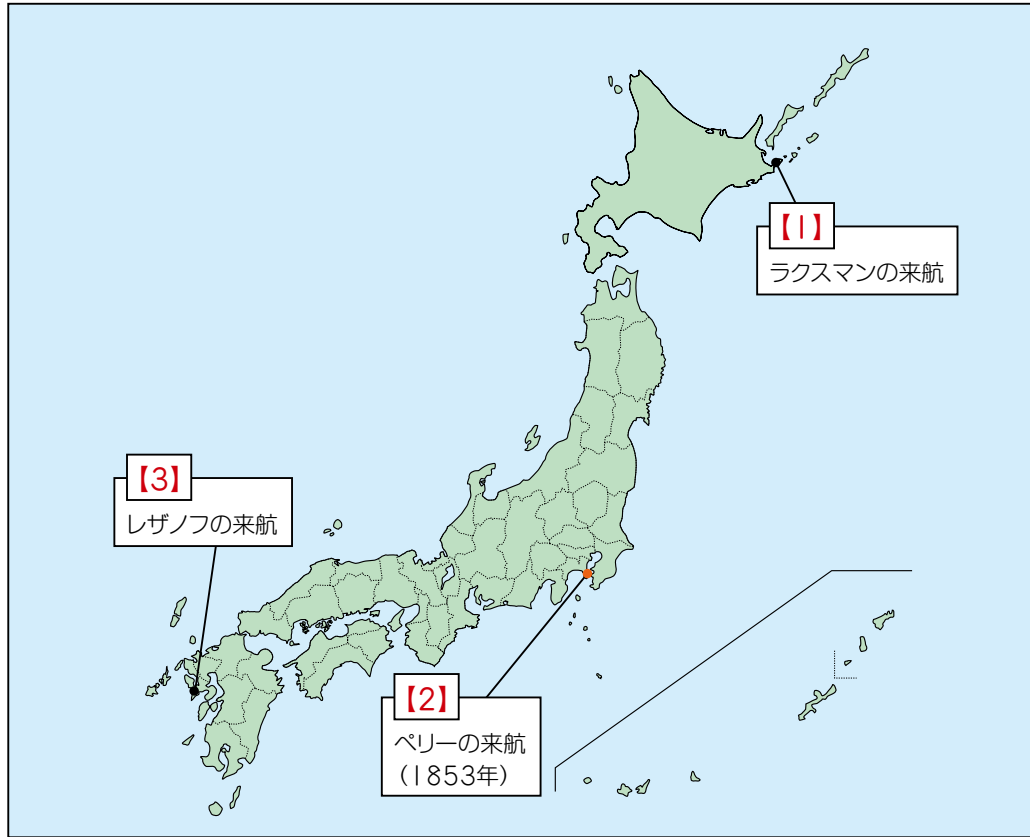
入試ではここが問われる!

- 交通については、地図上のルートから、街道名や航路名を答えさせる出題が見られます。特に東海道は出題されやすく、『東海道五十三次』などの絵画と関連して出題されることもあります。

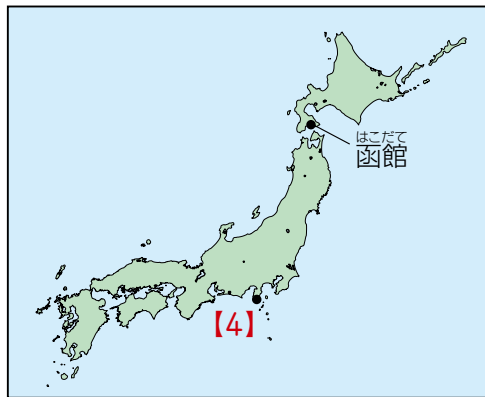
# 17 外国船の来航と開国



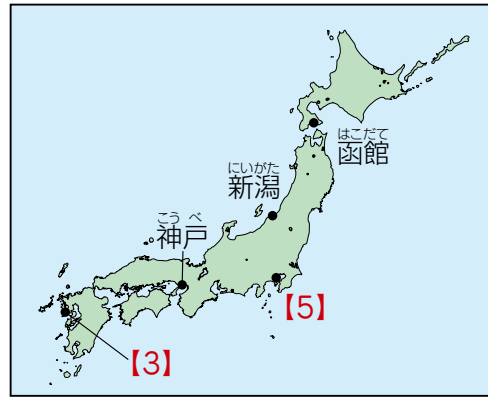
18世紀後半ごろからの外国船の接近と、幕府の対応から、開国までを見ていきます。開国前に外国船が来航した港と、日米和親条約・日米修好通商条約によって開港された港の場所などを確認しましょう。



幕末の外国船の来航



日米和親条約で開港した2港



日米修好通商条約で開港した5港

関連 ➡ 80ページ 主な港

## 外国船の来航

- **[1]** …ロシアの使節ラクスマンが貿易を求めて来航（1792年）。
- **[3]** …ロシアの使節レザノフが貿易を求めて来航（1804年）。
- フェートン号事件以降、外国船の接近が増加したことから、幕府は1825年に**[6]**（異国船打払令）を出しました。

## 開国と開国後に起こった外国との事件

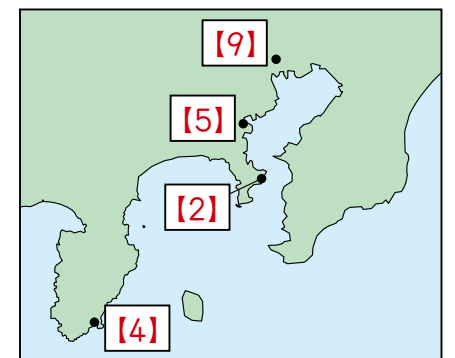
- 1853年にアメリカ合衆国（アメリカ）の使節ペリーが**[2]**に来航し、幕府に開国を求めました。
- **[7] 条約**…幕府が鎖国政策を変更し、1854年にアメリカと結んだ条約です。**[4]**と**函館**が開港され、下田には領事が置かれました。
- **[8] 条約**…大老の井伊直弼が、1858年に結んだ条約です。**函館**・**神奈川**（**[5]**）・**[3]**・**新潟**・**兵庫**（**神戸**）の5つの港が開かれました。

### ポイント 地名と場所を、セットで覚えておこう！

- 浦賀…ペリーが来航した。
- 下田・函館…日米和親条約で開港された。
- 函館・神奈川（横浜）・長崎・新潟・兵庫（神戸）…日米修好通商条約で開港された。

### 幕末の重要な地名 さらにチェック！

神奈川県と静岡県には、浦賀・横浜・下田など幕末の歴史に関わる非常に重要な場所が多くあります。右の地図で詳細な位置まで確認しておきましょう。



### 入試ではここが問われる！

- ペリーが来航した浦賀や、幕末に結ばれた2つの条約によって開港された港は、地図から位置を選ばせる問題が頻出です。